

-----

◆図書館の雑誌が利用しにくい  
(本館サービスカウンターにて本学学部学生)

Q: 卒論をまとめていくのに、本館においてある某雑誌が利用しにくくて困っている。徳島大学コアジャーナルということで、それまでは学部の図書室にあったのが、2001年発行以降が図書館に置かれている。貸出できなくなったし、研究費による複写もできないで、困っている。  
卒論を書くにはたくさんの資料を丹念に調べてゆかなければならない。他の学科では利用しないだろうから、学部の図書室に戻してほしい。

A: (本人の連絡先を確認し忘れてしまったので、担当の教員に以下のことを伝言依頼しました)

学部学生が図書館に来られて、某雑誌の利用が不便だと指摘されました。貸出できないこと、校費による複写ができないことの2点です。

- ・コピーのための当日返却の貸出はできます。サービスカウンターで貸出票に記入するかカウンターに申し出てください。
- ・校費による複写について、添付の様式に記名、押印のうえ、当該学生に事前渡しすることによりある程度は不便さの解消ができるのではないかと思います。様式添付します。

図書館から返事をしますと伝えていたのですが、連絡方法を確認しておくのを忘れてしまいました。申し訳ありません。

図書館の利用で不便に思っていること、解決方法などを自分で考えて、勇気を持ってきちんと私たち図書館職員に伝えてくれた二人の学生さんには感謝しています。卒論がんばっていただくようよろしくお伝えください。

-----

◆図書館がうるさい (本館 投書 匿名 2005.11.14)

Q: 図書館でみんなしゃべりすぎ。うるさくて集中できない。誰かが見回りしてほしい。見回りする人を増やしてほしい。対策してほしい。

A: ご意見をもとに次の対策をしました。

- (1) 衝立てのない閲覧机を使用しているときに、おしゃべりが発生しやすいとされます。衝立てのある閲覧机を集中して配置しました。利用の多い本館2階北側はすべての閲覧机が衝立てのあるものにしました。
- (2) グループで討論しながら学習するための部屋としてグループ研究室があります。この部屋を利用するには手続きが必要なために、利用が少なかったと考えられます。本館3階のグループ研究室を来年の3月まで、試験的に手続きなしで利用できるようにしてみます。
- (3) 本年6月に実施しました、マナーアップキャンペーンを、12月に実施します。マナーアップのためのポスターを多く貼り、同時に図書館員が定時に館内を見回ります。

今後とも、快適な利用環境のために努力いたしますので、よろしくお願い致します。

-----

◆研究室の図書が利用しにくい (保護者代表と学長との懇談会の事前質問より)

Q: 附属図書館の蔵書(図書館蔵であるが、教官の研究室に置かれている書)をもっと利用しやすいようにすべきできないでしょうか。  
学習を深めるために必要となる専門書や専門雑誌の多くが館内に置かれておらず、教官の研究室に置かれているため、学生にとっては使いにくい図書環境になっていると思います(教官を訪ねていってもいつも不在、借りるために一々説明をしなければならないなど)。

研究室のみで使用するのであれば研究費で購入すべきであり、図書館の蔵書であるなら、学生が利用しやすいよう図書館側がもっと便宜を図るべきではないでしょうか(現在の対応は、借りる側が研究室へ行き教官の許可を取れということになっていますが・・・)。

A: 徳島大学には、図書館費で購入して図書館に置く図書と教員の研究費で購入

して研究室に置く図書とがあり、いずれも本学図書館の蔵書として登録されます。

ご質問の図書は図書館費で購入したものではなく、研究費で購入された図書です。このような場合は、利用したい本人が直接教員と連絡をとっていただく運用をしています。この点が利用上不便であるとのこと指摘です。そこで今後は、図書館が教員との連絡調整を行う運用に改訂いたしますので、カウンターの職員へご相談・お申し出ください。

-----